

敦賀港物流トライアル委託事業

敦賀港の利用促進に向けた今後のポートセールスに活用するため、内貿航路を利用したトライアル輸送を実施しました。

1 事業の目的

敦賀港を利用した新たな物流モデルと具体的な事例収集のためトライアル輸送への協力企業を公募し、収集したデータにより従前ルートや競合ルートとの比較検証を行い、今後のポートセールスへの活用および集荷拡大・利用促進を図る。

2 事業の対象

対象条件	対象者	対象経費	費用
① 敦賀港を利用した新たな物流ルート ② 敦賀港の内貿（コンテナ/RORO定期航路/フェリー定期航路）の利用貨物 ③ 敦賀港の利用により物流面の改善効果・機能向上が見込まれること ④ トライアルに関する効果検証や敦賀港PRへの協力	荷主企業 物流事業者	① トライアル経費 （海上運賃、国内陸上輸送費、国内荷役料、梱包料、その他経費等） の1/2 ② 受注者出張費用 ③ 実績報告書作成費	1件最大 20万円

3 スケジュール

令和2年6月～令和3年1月

4 委託事業者

公募結果5社（運送業2社、製造業（食料品等）3社）の事業者がトライアルを実施。

5 トライアルの結果

トライアル実施により輸送コストの低減（10～12%）、リードタイムの削減（1日短縮）、環境負荷軽減（CO2排出量17～90%削減）、事業継続性の確保（BCP）等の効果が確認されました。

また、トライアル実施の結果、利用した事業者からは今後敦賀港の利用を検討したいとの意見があり、さらに、トライアル実施後から敦賀港の正式な利用につながる例もありました。

事業者別トライアル結果一覧

申請者	A (製造業)	B (運送業)	C (製造業)	D (運送業)	E (製造業)
輸送コスト	約10%減	メリットあり	約5~7%増	同等	約12%減
輸送時間	1日延長	1日延長	1日延長	同等	1日短縮
BCP対応	メリットあり	メリットあり	メリットあり	メリットあり	メリットあり
環境負荷 (CO2排出量)	削減効果あり	削減効果あり (約90%削減)	削減効果あり	削減効果あり (約17%削減)	陸送増のため 環境負荷増大
今後の利用	仕向先が限定的で 積極的利用が困難	利用検討	来年度より 利用予定	トライアル後 継続利用	利用検討

※表中記載の内容は、従来との比較